

令和6年度 第1回板橋グリーンカレッジ運営協議会次第

日時：令和6年7月24日 15時から

場所：グリーンカレッジホール 教室2

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
板橋グリーンカレッジ運営協議会委員委嘱名簿（資料1）
- 3 議長選出
- 4 副議長選出
- 5 報告事項
 - （1）令和5年度 板橋グリーンカレッジの実施結果について（資料2）
 - （2）令和6年度 板橋グリーンカレッジの受講状況について（資料3）
 - （3）令和6年度後期 板橋グリーンカレッジ講義概要（資料4）
- 6 協議事項
令和7年度板橋グリーンカレッジ大学校カリキュラム案（資料5）
- 7 閉会

配布資料

- 資料1 板橋グリーンカレッジ運営協議会委員委嘱名簿
資料2 令和5年度 板橋グリーンカレッジの実施結果について
資料3 令和6年度 板橋グリーンカレッジの受講状況について
資料4 令和6年度後期 板橋グリーンカレッジ講義概要
資料5 令和7年度板橋グリーンカレッジ大学校カリキュラム案
参考資料 板橋グリーンカレッジ運営要綱
令和6年度板橋グリーンカレッジ大学校・大学院実施要領
板橋グリーンカレッジ運営協議会運営要綱

板橋グリーンカレッジ運営協議会委員委嘱名簿

○ 任期 令和 6 年6月1日から令和 8 年5月31日まで

	役 職	氏 名	委員就任年月日
委員	大東文化大学 文学部 英米文学科 教授	河野 芳英	令和 2 年 6 月 1 日～
委員	板橋グリーンカレッジOB会 会長	浦岡 信正	令和 6 年 6 月 1 日～
委員	東京家政大学 人文学部 教育福祉学科 大学院人間生活学総合研究科 教育福祉学専攻 准教授	宮地 孝宜	令和 6 年 6 月 1 日～
委員	淑徳大学 人文学部 人間科学科 助教	田中 元基	令和 6 年 6 月 1 日～
委員	東京都健康長寿医療センター研究所 研究員	横山 友里	令和 6 年 6 月 1 日～
公募	区民代表	鈴木 比呂子	令和 6 年 6 月 1 日～
公募	区民代表	寺澤 哲雄	令和 6 年 6 月 1 日～
区職員	板橋区教育委員会事務局 地域教育力担当部長	雨谷 周治	令和 5 年 6 月 1 日～ (充て職につき)

令和 5 年度 板橋グリーンカレッジの実施結果について

板橋グリーンカレッジは、シニア世代の多様化・高度化する学習要求に応えるとともに地域社会における活動促進を目的として、平成 6 年度より板橋グリーンカレッジ「高齢者大学校」を、平成 15 年度より「大学院」を開校している。

令和 4 年度より、生涯学習課が中心となって学びのハブ機能を果たし、シニア世代を含めた多様な世代に向けた生涯学習環境の充実・発展を図っていくことを目的に長寿社会推進課から業務移管を行った。

令和 5 年度の実施結果については、下記のとおりである。

記

1 令和 5 年度の実施状況

(1) 教養課程

	午前	午後	いずれも可	合計
定員	80 名	80 名		160 名
申込者数	98 名	73 名	24 名	195 名
受講者	80 名	80 名		160 名
R6 進学者数	73 名	64 名		138 名

(2) 専門課程（聴講生含む）

	文化文学	社会生活	健康福祉	合計
定員	80 名	80 名	80 名	240 名
進学者数	43 名	26 名	52 名	121 名
聴講生	37 名	54 名	28 名	119 名
卒業者数 (本科生のみ)	32 名	22 名	41 名	95 名

(3) 大学院

	文化文学	社会生活	健康福祉	合計
定員	30 名	30 名	30 名	90 名
申込者数	23 名	17 名	16 名	56 名
卒業者数	19 名	15 名	11 名	45 名

2 板橋グリーンカレッジオープンキャンパス

令和4年度から全世代を対象とした「板橋グリーンカレッジオープンキャンパス」を開講している。令和5年度は、シリーズ講義として「板橋の交通史」をテーマに、全3回の講義を2期に分けて実施した。

(1) 受講者数

	第1期	第2期	合計
定員	100名	100名	200名
申込者数	31名	76名	107名
受講者数	30名	68名	98名
参加者数	延べ79名(※)	延べ181名(※)	260名

(※) 人数内訳

第1期：第1回25名、第2回26名、第3回28名

第2期：第1回63名、第2回60名、第3回58名

(2) 受講者数年代内訳

年代	人数
30代	1名
40代	1名
50代	4名
60代	32名
70代	47名
80代	10名
不明	3名
合計	98名

全世代対象講座「板橋の交通史」

【板橋グリーンカレッジとは】
シニア世代向け講座を提供している事業です。区民皆様の学びの機会に対する要望にお応えするため、全ての世代に向けたオープンキャンパスを開催しています。

回	内容	とき	曜日・時間	ところ	講師
1	板橋と飛行機 ～板橋にまつわる 飛行機の史実・3部作～	第1期：10月28日 第2期：12月16日	土曜日、 14時～ 15時30分	グリーン カレッジ ホール	郷土史家 山下 徹
2	板橋の街道と地域社会 ～中山道・川越街道を 中心に～	第1期：11月18日 第2期： 2月10日			板橋区教育委員会事務局 生涯学習課文化財係長 吉田 政博
3	板橋の鉄道 ～日本鉄道品川線から 山手線・赤羽線へ～	第1期： 1月13日 第2期： 2月24日			鉄道博物館 学芸部 主幹学芸員 奥原 哲志

会場案内図



定員

各期100名（定員を超えた場合は抽選）

申し込み方法

【往復はがきの場合】

＜記入事項＞

- ①板橋グリーンカレッジオープンキャンパス申込み ②郵便番号・住所
 - ③氏名（ふりがな） ④生年月日 ⑤電話番号・FAX番号
 - ⑥区内在勤・在学の場合は、勤務先（所在地）・学校名を記入
 - ⑦希望コース（第1期または第2期、どちらでもよい場合は優先順位）
- ※返信用にも住所・氏名を明記してください。

【電子申請の場合】

パソコンや携帯電話などからインターネットで申し込めます。

申込み締切

令和5年10月18日（水）必着

申込み先・問合せ

板橋区教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育推進係
〒173-8501 東京都板橋区板橋2-66-1 ☎03-3579-2633



▲電子申請はこちら

令和6年度 板橋グリーンカレッジの受講状況について

1 板橋グリーンカレッジ大学校(1年生)

<年代内訳>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
コース等	午前・午後	午前・午後	午前・午後	午前・午後	科目選択制
募集定員	300名	160名※1	160名	160名	300名
応募者数	182名	208名※2	184名	195名	213名
入学決定者数	182名	139名	160名	160名	213名

※1 令和2年度について、新型コロナウイルス感染症の影響により1年間休校となった。
令和3年度では、令和2年度に受講する予定だった方を優先したため、定員160名のうち、新規募集枠は29名となった。

※2 208名のうち、令和2年度受講予定者からの応募が131名、令和3年度の新規応募が77名となっている。

年代	人数
10代	1
20代	2
30代	6
40代	9
50代	35
60代	85
70代	67
80代	8
合計	213

2 板橋グリーンカレッジ大学校(専門課程)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
コース等	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉
定員(a)	378名	480名※	240名	240名	360名
進学者(b)	138名	97名	129名	121名	138名
聴講生	定員(a-b)	383名	111名	119名	222名
	応募者	308名	246名	217名	202名
	受講決定者(d)	240名	226名	119名	174名(※)
総受講者数(b+d)	378名	323名	240名	240名	312名
卒業者数		88名	112名	95名	
累計卒業者数		4524名	4636名	4731名	

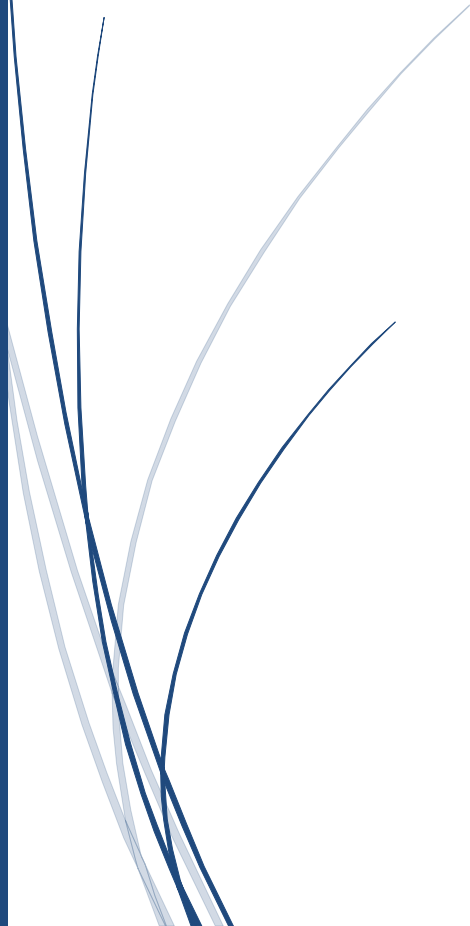
※文化文学コースのみ定員を超えたため抽選

3 板橋グリーンカレッジ大学院

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
コース等	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉
募集定員	90名	75名	90名	90名	90名
応募者数	72名	42名	54名	56名	57名
入学決定者数	71名	41名	54名	55名※	57名
受講者数	64名	41名	53名	55名	57名
卒業者数	54名	36名	47名	45名	
累計卒業者数	1211名	1247名	1294名	1339名	

※受講前に1名がキャンセルしたため、55名となっている。

令和 6 年度後期
板橋グリーンカレッジ
講義概要



令和6年度 板橋グリーンカレッジ大学校1年生 講座一覧（後期）

ね ら い:1年生では、生涯学習を促進する多種多様なテーマについて、幅広く学びます。

会 場:グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室1

講座番号	科目	日時 ※①・②は同内容の講義	テーマ・講義内容	講師
1	外国語	①10月7日(月) 14:00～15:30	比較文学と文化の移植としての翻訳 この講座では主としてフィクションの翻訳もしくは翻案と作品間、作家間の影響関係や類似性と相違の分析を試みます。それを通じて異文化圏と異言語圏での彷徨と出発点への帰着を疑似的に体験し、自国の文物と御自身の内面に思いを馳せる機会を持っていただければと願っています。	昭和女子大学 名誉教授 もりもと しんいち 森本 真一
		②10月18日(金) 14:00～15:30		
2	絵本	①10月21日(月) 14:00～15:30	絵本から考える SDGs 入門 現在、紛争、気候変動、自然災害、人権侵害、貧困問題、教育格差、資源の争奪など地球規模の問題群が山積する中、世界各国で17の持続可能な開発目標(SDGs)を掲げ、解決に向けて国際的な機運が高まっています。この授業では、SDGs に関連するテーマに関して、絵本を通じて入門的に学びます。子どもたちが暮らす未来社会について一緒に考えていきましょう。	東京家政大学 短期大学部保育科 教授 おざき つかさ 尾崎 司
		②10月28日(月) 14:00～15:30		
3	観光	①11月12日(火) 10:00～11:30	カフェ文化から見る生活史 100 年の変遷 近代文学の舞台にもなっている戦前のカフェーとは、いったいどんな場所だったのでしょうか。客層、メニュー、BGM、そして、そこで働く女給たちの生活はどのようなものだったのでしょうか。『夜の銀座史』(ミネルヴァ書房)を手掛かりに、明治から戦後までのカフェーの変遷をたどります。	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 准教授 おざき たかこ 小関 孝子
		②11月12日(火) 14:00～15:30		
4	心理学	①11月25日(月) 10:00～11:30	暮らしに生かす 私たちの心と体のストレスケア 人が人と関わりながら生きるには「ストレス」がつきもの。対人緊張や心労、怒りやイライラ、落ち込み、過労…。それらによる心身の疲労と付き合いつつ、しなやかに過ごすためには、生きた知恵と日常の工夫が大切です。知識だけでなく心身のストレスケア法も体験できる実践的な内容となっています。	公認心理師 よしもと のぶこ 義本 伸子
		②12月2日(月) 10:00～11:30		

講座 番号	科目	日時 ※①・②は同内容の講義	テーマ・講義内容	講師
5	板橋学	①12月4日(水) 10:00～11:30	民俗学への招待－板橋区と櫻井徳太郎－ 民俗学者柳田國男に師事した櫻井徳太郎氏は、長らく板橋区に在住し、幅広い視野から民俗学研究や教育活動を精力的に推進するとともに、「板橋区史」の編さん統括など区の文化行政に多大な貢献を果たしました。本講義では、櫻井徳太郎氏の人と学問についての理解を深め、民俗学の面白さについて一緒に学びましょう！	二松学舎大学 名誉教授 たにぐち みつぎ 谷口 貢
		②12月4日(水) 14:00～15:30		
6	福祉	①12月26日(木) 10:00～11:30	人生を豊かに過ごすために ～フレイルの予防～ 人生 100 年時代を迎え、長く健康で過ごすことの重要性がさらに増えています。年齢を重ねることで身体機能や認知機能などの心身の機能は自然に低下していきます。しかし、運動や食事、社会活動などに気を使い、日常生活を活動的にするだけでも、こうした機能の低下（フレイル）を軽減できることが知られています。	一般財団法人 明治安田 健康開発財団 健康増進支援センター ながぬま ゆ き こ 長沼 由紀子
		②12月26日(木) 14:00～15:30		
7	経済	①1月10日(金) 10:00～11:30	自分に合った資産運用を始めるための基礎知識 金融資産は自分で形成し守るという自助努力が求められています。講座では、資産運用における税制優遇制度や主な金融商品である投資信託の基本知識を学び、年齢、家族、資金で自分に合った資産運用の方法を学びます。運用未経験の方には、自信を持って運用を始める機会とし、運用経験のある方には、内容や方法を見直す機会とします。	特定非営利活動法人 金融と証券を学習 する会 か わ い むねのり 川居 宗則
		②1月20日(月) 14:00～15:30		
8	地理	①1月16日(木) 14:00～15:30	武蔵野台地と板橋区の地理 板橋区は武蔵野台地の北端近くに位置しており、高台と低地のある地形となっています。石神井川などの中小河川による浸食で、台地には多くの谷が形成され、そのため区内には多くの坂や階段、崖や傾斜地があります。区内の地形の特色や、特徴的な地形景観などを見ていきます。	早稲田大学 オープンカレッジ 講師 まつもと やすお 松本 泰生
		②1月19日(日) 14:00～15:30		

講座番号	科目	日時 ※㉠・㉡は同内容の講義	テーマ・講義内容	講師
9	建築学	㉠ 1月23日(木) 14:00～15:30	東京のまちづくりと建築 現在の東京の街は、江戸時代の江戸の町をベースにして、近代以降、市区改正や震災復興、戦災復興などの都市改造によって形成されてきました。そしてそこに建ち並ぶ建築物も、西欧の影響や技術の発展に伴い、大きく姿を変えてきました。東京の街の変遷と建築物の移り変わり、近年の状況などを見ていきます。	早稲田大学 オープンカレッジ 講師 まつもと やすお 松本 泰生
		㉡ 1月26日(日) 14:00～15:30		
10	天文学	㉠ 1月30日(木) 10:00～12:00	天文学のすすめ ～夜空を見上げてみませんか～ 街明かりのある板橋でも星を楽しむことができることを知っていますか？プラネタリウムでは、星空を見ながらその時季に見られる星座の星の探し方や星座にまつわる神話を紹介します。また、天文学の世界では、毎年のように新しい発見があり、情報が更新されていきます。講義では、現時点でわかっている宇宙や天体の情報などについて解説します。 ※会場について詳細は5頁参照	教育科学館 天文学担当
		㉡ 1月30日(木) 14:00～16:00		
11	統計学	㉠ 2月21日(金) 10:00～11:30	確率・統計の楽しみ テレビの視聴率は信頼できるのでしょうか？池の中の魚の数はどうやって予測しているのでしょうか？飛行機が座席数以上のチケットを販売するダブルブッキングはなぜ許されているのでしょうか？確率問題を直感で回答すると、どうして間違ってしまうのでしょうか？難しいことはありません。確率・統計の問題を1つずつ、みなさんと考えていきます。	東京都立大学 システムデザイン学部 情報科学科 教授 おかもと しょうご 岡本 正吾
		㉡ 2月28日(金) 10:00～11:30		
12	メディア論	㉠ 2月23日(日) 14:00～15:30	デジタル時代のメディア文化 デジタルメディアは私たちの文化と社会をいかに変容させてつづつあるのでしょうか。本講義ではスマートフォン、観光、ゲーム、広告などをとりあげながら、また、記号論やメディア論などの理論や概念をわかりやすく紹介するなどしながら、デジタル革命以後、今まさに私たちが直面しつつある文化的／社会的状況を考えていきます。	獨協大学 外国語学部英語学科 教授 まつもと けんたろう 松本 健太郎
		㉡ 2月28日(金) 14:00～15:30		

≪ 2年生への進級について ≫

2年生では、18 講座の中から 6 講座お選びいただき、履修届をご提出いただきます。
各講座は 3 回シリーズの講座を予定しております。詳細は 1 月頃お知らせいたします。

「天文学」講義の実施日と実施場所についてのお知らせ

講座番号 10 番【天文学】の講座は、板橋区立教育科学館にてプラネタリウムの鑑賞を交えて行います。通常の講義と異なりますので、お間違えのないようご注意ください。

「天文学のすすめ ～夜空を見上げてみませんか～」

日 程： 1 月 30 日（木曜日）

会 場： 常盤台地域センター、板橋区立教育科学館（板橋区常盤台 4 - 1 4 - 1）

集 合 時 間： ①日程 9 時 50 分 ②日程 13 時 50 分

講 義 時 間： ①日程 10 時～12 時 ②日程 14 時～16 時

集 合 場 所： 常盤台地域センター レクリエーションホール

※入り口は教育科学館の裏手にあります。プラネタリウム会場と集合場所が異なりますのでご注意ください。

アクセス

電車でお越しの場合

◆東武東上線 上板橋駅北口下車 徒歩 5 分

バスでお越しの場合

◆志村三丁目駅方面から

国際興業バス 常 01 ときわ台駅行き
常盤台四丁目下車 徒歩 3 分

※ときわ台駅から常 01 系統に乗車の場合、
教育科学館下車 目の前

◆王子駅方面から

国際興業バス 王 54 上板橋駅行き
教育科学館下車 目の前



※駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

**プラネタリウム上映中は、途中入室ができません。遅刻した場合は、
プラネタリウムをご覧いただくことができませんので、ご注意ください。**

令和6年度 板橋グリーンカレッジ 専門課程（後期）講義概要

【文化文学コース】

ね ら い: 様々な文化や文学について理解を深め、自己の教養向上をめざす。

令和6年度後期は、「歴史・文化」をテーマに、現代までの様々な分野の歴史を学ぶことで、現代社会について理解を深め、考えるきっかけとなることをめざす。

日 程: 原則として、各回月曜日 14:00 から 15:30 まで **（第9～11回のみ木曜日）**

会 場: グリーンカレッジホール（志村3-32-6）3階 教室1

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
（第9～11回） 9月26日 10月3日 10月10日 成蹊大学 文学部国際文化学科 准教授 てらもと のりこ 寺本 敬子	万国博覧会とは何か－歴史的展開と日本 2025 年に大阪・関西万博が開催されますが、そもそも万博とは歴史的にいかなる経緯で誕生し、現在に至るまで開催されてきたのでしょうか。本講義では19世紀ヨーロッパにおける万博の誕生、幕末日本の万博デビューとジャポニスム、20世紀以降の万博の展開を検討し、万博とは何かを皆さんと共に考察していきたいと思います。 ● 9月26日: 19世紀ヨーロッパにおける万博の誕生 ● 10月3日: 幕末日本の万博デビューとジャポニスム ● 10月10日: 20世紀以降の万博の展開 ★本講義は木曜日での実施となります。	万国博覧会に焦点を当て、近代以降の日本と世界における文化・社会の歴史的展開について理解を深めます。
（第12～14回） 11月25日 12月2日 12月16日 東京大学 史料編纂所 教授 かねこ ひらく 金子 拓	戦国時代の文化－旅と食と酒 戦国時代は、いまにつながるような食事のあり方（懐石料理など）ができあがった時代であり、それはお酒を伴う場や茶会などにより普及しました。今回はこうした戦国時代の食べ物や飲み物、それにともなうおもてなしのあり方に注目するとともに、文化的側面として、京都の文化が地方に伝播するきっかけとなった旅のあり方にも注目して話をします。 ● 11月25日: 戦国時代の食 ● 12月2日: 戦国時代の酒とおもてなし ● 12月16日: 戦国時代の旅	食や酒、旅にまつわる戦国時代の史料を読み、理解することで、現代のわたしたちの食生活や飲酒、旅行のあり方につながる面、異なる面について考え、自分たちのふだんの生活を相対化して捉えられるような視点を獲得する。

<裏面あり>

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
(第15～18回) 1月27日 2月 3日 2月10日 2月17日 大正大学 文学部歴史学科 教授 つかだ よしみち 塚田 良道	古墳と埴輪 –さきたま古墳群から古代を探る– 埼玉県行田市のさきたま古墳群は、古墳時代の歴史を物語る数多くの考古資料が発見されています。この講座ではさきたま古墳群を例に、前方後円墳や埴輪の見方を学び、あわせて古墳時代の文化や人物について考えてみたいと思います。 ●1月27日：前方後円墳とは何か ―古墳の調査と埋葬施設― ●2月 3日：埴輪の世界 ―人物埴輪が語ること― ●2月10日：鉄剣銘文と氏族 ―ワカタケル大王とヲワケ― ●2月17日：古墳と渡来文化 ―古代東国の渡来人たち―	さきたま古墳群を例に、古墳時代の歴史を理解することで、遺跡や博物館に出かけて考古資料を見学するときの見どころを学びます。

【注意事項】

- 1 入学2年目の方は、講座の受講のほかに、卒業レポートを提出していただく必要があります。
卒業レポートの提出期間は、11月1日(金)～12月2日(月)です。詳細は、「卒業レポート」提出のお願いをご覧ください。
- 2 やむを得ない事情により、日程、講座テーマ、場所を変更することがあります。
- 3 長期欠席の後にご出席される場合は、下記まで日程の変更の有無をご確認ください。
(板橋区立グリーンカレッジホール 電話 03-3960-7701)

令和6年度 板橋グリーンカレッジ 専門課程（後期）講義概要

【社会生活コース】

ね ら い： 社会に関わる様々な事象について学び、社会や生き方を見つめ直すヒントを得る。

令和6年度後期は、「経済と暮らし」をテーマに、社会問題や経済について広く学び、暮らしに役立つ知識を得ることで生活の質の向上をめざす。

日 程:原則として、各回水曜日 10:00 から 11:30 まで

会 場:グリーンカレッジホール（志村3-32-6）3階 教室1

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
(第9～12回) 9月 4日 9月 11日 10月 9日 10月 16日 渋沢史料館 館長 くわばら こういち 桑原 功一	渋沢栄一の活動と「論語と算盤」 渋沢栄一は、日本に近代的経済社会の基礎を築きます。多くの株式会社の設立・育成と共に、社会公共事業や国際交流に尽力します。その際、利益を求める経済にも道徳が必要であると、道徳と経済（論語と算盤）の一致を心掛け、実践しました。栄一の「論語と算盤」の考えに基づいた実践のあり方を探ってみましょう。 ● 9月 4日：幼少～青年期における栄一の道徳実践をみます。 ● 9月11日：『論語』を指針にした栄一の企業実践のあり方を考えます。 ● 10月 9日：福祉事業活動における栄一の考えをみます。 ● 10月16日：栄一が社会に広く「論語と算盤」を主張し始める意味を考えます。	大きく変化する時代に向きあった渋沢栄一の考えや生き方を学び、これからの自分の生き方のヒントを得ます。
(第13～15回) 11月 6日 11月 27日 12月 11日 一般社団法人 リテール AI 研究会 代表理事 はやし たくと 林 拓人/ 理事 たなか ゆうさく 田中 雄策	流行りのデジタル技術を楽しく学び、体感しましょう！ この講義シリーズでは、最新のデジタル技術の基礎から実生活への影響まで学びます。SNS やオンラインエンターテイメント、ChatGPT、そして食品流通の革新について、具体的な事例を通じて理解を深めます。 ● 11月 6日：デジタル技術によって構造そのものが変わる時代 ● 11月27日：デジタルコミュニケーションとライフスタイル ● 12月11日：デジタル技術と食品流通の革新	参加者はデジタル社会のトレンドとその実際の利用方法を理解し、最新のデジタル技術を学ぶことができます。

<裏面あり>

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
(第16～18回) 1月15日 1月22日 2月 5日 大東文化大学 経済学部 特任教授 やました はるこ 山下 東子	魚を取り巻く^{アポリア}難問の解決を、経済学で考えてみよう 海の温暖化や乱獲によって漁獲量は減少し、消費者の魚離れも急速に進んでいます。魚をとりまく諸問題(アポリア＝解決が難しい難問)について、講師が初歩的な経済学を用いつつ説明しますので、受講者の皆さんもぜひ一緒に解決策を考えていきましょう。講義の翌日に、誰かに話したくなるようなネタを毎回用意しています。 ●1月15日:消費者の魚離れ―誰がなぜ食べなくなっているのか？ ●1月22日:新しい漁業制度―漁業権って何？ ●2月 5日:ウナギを絶滅危惧種にしない意外な方法	米国の大学の授業方式を取り入れ、学びながら考えながら質問もする、「マルチタスク」で進めます。ぜひ楽しんでください。

【注意事項】

- 1 入学2年目の方は、講座の受講のほかに、卒業レポートを提出していただく必要があります。
卒業レポートの提出期間は、11月1日(金)～12月11日(水)です。詳細は、「卒業レポート」提出のお願いをご覧ください。
- 2 やむを得ない事情により、日程、講座テーマ、場所を変更することがあります。
- 3 長期欠席の後にご出席される場合は、下記まで日程の変更の有無をご確認ください。
(板橋区立グリーンカレッジホール 電話 3960-7701)

令和6年度 板橋グリーンカレッジ 専門課程（後期）講義概要

【健康福祉コース】

ね ら い：健康寿命を延ばし、心身ともにいきいきと過ごすための秘訣を学ぶ。

令和6年度後期は「福祉」をテーマに、生活に役立つ制度や知識を培い、受講者がより快適に生活できることを目的とする。

日 程：原則として、各回火曜日 14:00 から 15:30 まで

会 場：グリーンカレッジホール（志村3-32-6）3階 教室1 **（第15回のみ4階ホール）**

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
（第9～12回） 10月 1日 10月 15日 10月 22日 10月 29日 淑徳大学 人文学部人間科学科 教授 ふじもり ゆうすけ 藤森 雄介	日本における「仏教(社会)福祉」の歴史と思想 いわゆる「社会福祉」は、近代以降に西洋文化にルーツを持つ概念とされていますが、実は日本を含めたアジアでは、古の時代から仏教に根差した福祉的な実践が行われてきました。日本における仏教の教えに根差した福祉の原点について、一緒に考えてみましょう。 ●10月 1日：現代日本における「社会福祉」の定義 ●10月15日：ソーシャルワークのグローバル定義とその課題から「仏教(社会)福祉」の可能性を考える ●10月22日：“淑徳大学 学祖 長谷川良信の生涯”から、仏教(社会)福祉実践を考える ●10月29日：仏教(社会)福祉キーワードとしての「利他共生」	「仏教(社会)福祉」というユニークな視点を理解する事で、「社会福祉」の本質について自ら考える力を身につけます。
（第13～15回） 11月 26日 12月 3日 12月 10日 板橋区発達障がい者 支援センター「あいポート」 センター長 こやま のぶこ 小山 伸子/ 板橋区発達障害児者 親の会「Jの会」代表 すずき まさこ 鈴木 正子/ 「空色のアトリエ」代表 はせがわ つかさ 長谷川 司/ 一般社団法人 秋田雨雀・土方与志 記念青年劇場 団員	大人の発達障害について理解する 近年、発達障がいの診断を受ける方はとても増えています。板橋区は全国に先駆けて大人の発達障がい者支援センターを開設し、当事者活動も盛んです。本来、誰もが個性的な人間ですが、人と違うことが生きづらさとなる社会状況があります。多様性の尊重、誰もが生きやすい環境について一緒に考えましょう。 ●11月26日：発達障がいとは何か、基本を学びます。（小山先生） ●12月 3日：当事者の体験談を聞きます。（鈴木先生・長谷川先生） ●12月10日：演劇ワークショップで楽しいコミュニケーションを体験します。（一般社団法人秋田雨雀・土方与志記念青年劇場 団員） ★12月10日のみ4階ホールが会場となります。	脳の個性と言われる発達障がいについて学び、コミュニケーションワークを体験することで、多様性の尊重について考えを深めます。

<裏面あり>

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
(第16～18回) 2月 4日 2月 18日 2月 25日 東京家政大学 人文学部教育福祉学科 准教授 みやち たかよし 宮地 孝宜	学びの視点から地域コミュニティにおけるウェルビーイングを考える 人生 100 年時代と言われる今日、人々が「幸せ」を実感することができ 地域コミュニティを構築することが求められています。本講義では、 学び、学び合いの視点から、これからの地域コミュニティのあり方につい て検討します。地域コミュニティにおいてウェルビーイングを高めていく ために私たちは何をすべきか、一緒に考えてみましょう。 ●2月 4日:高齢者の生きがいと学び ●2月18日:コミュニティの今と昔 ～これからの地域コミュニティのあり方を考える～ ●2月25日:出張「こころカフェ」	地域コミュニティに おいて、自分ができ ることは必ずありま す。これから一歩 踏み出すきっかけ となる機会にしてい ただきたいと思いま す。

【注意事項】

- 1 入学2年目の方は、講座の受講のほかに、卒業レポートを提出していただく必要があります。
 卒業レポートの提出期間は、11 月 1 日(金)～12月3日(火)です。詳細は、「卒業レポート」提出のお願いをご覧ください。
- 2 やむを得ない事情により、日程、講座テーマ、場所を変更することがあります。
- 3 長期欠席の後にご出席される場合は、下記まで日程の変更の有無をご確認ください。
 (板橋区立グリーンカレッジホール 電話 3960-7701)

令和 7 年度 板橋グリーンカレッジ大学校 カリキュラム案

大学校 1 年生 (23科目から18科目選択)
①芸術：日本の美術と文化 ②文学：日本文学 ③文章論：文章・論文・レポートの作り方 ④絵本：絵本から学ぶ ⑤音楽：世界の音楽
⑥歴史：近代の歴史 ⑦哲学：哲学入門講座 ⑧観光学：日本の自然遺産、世界遺産の今後の課題 ⑨板橋学：板橋の祭事と伝承 ⑩文化史：日本と世界の比較文化
⑪健康：食品表示から食の安全・安心を考える ⑫福祉：板橋を誰もが住みやすいまちにするために ⑬心理学：心理学入門～思考と動機づけの心理学～
⑭法律：刑法について ⑮建築学：日本城の建築
⑯社会：ジェンダー平等 ⑰地理：板橋の地理 ⑱経済：経済のしくみを知って賢く生きよう
⑲天文学：天文学のすすめ ～星空を見上げてみませんか～ ⑳科学：生命と地球の共進化－過去から未来を推定する－ ㉑プログラミング：身近になったコンピュータとプログラミング ㉒メディア論：アニメーション論 ㉓統計学：はじめてのデータ分析入門

大学校 2 年生 (18科目から6科目選択)
A 文学・芸術 ①芸術：近代の西洋美術と美術館の楽しみ方 ②文学：明治の文豪から学ぶ（樋口一葉、尾崎紅葉など） ③絵本：大人も楽しむ絵本学
B 歴史・文化 ④歴史：室町・鎌倉時代の武家社会と寺社仏閣 ⑤哲学：西洋哲学者から学ぶ思想と現代社会 ⑥板橋学：板橋の歴史シリーズ
C 健康 ⑦健康：筋肉と血液の関係 ～食事と運動がつくる体組織～ ⑧心理学：ストレスの起源と社会様相の変化 ⑨福祉：日本の社会保障（福祉・介護など）
D 地域と暮らし ⑩法律：電子商取引で覚えておくべき法（著作権法・民法など） ⑪生活史：昭和の生活史
E 社会 ⑫農業：日本の農業の未来と板橋の農業政策 ⑬地理：武蔵野台地と板橋区の地理 ⑭経済：日本経済と国際情勢 ～為替の仕組み・円高・円安～
F 情報・科学 ⑮天文学：最新の宇宙科学と宇宙工学 ⑯プログラミング：身近なプログラミング応用 ⑰統計学：確率・統計の楽しみ（応用編） ⑱スポーツ：スポーツと健康科学

※大学院については、移行期間のため旧カリキュラムで実施（文化文学・社会生活・健康福祉の分野から 1 コース選択）

※講師との調整により、内容が変更となる可能性あり。

板橋グリーンカレッジ運営要綱

(令和4年3月30日教育長決定)

(目的)

第1条 この要綱は、区民等の多様化・高度化する学習要求に応えるとともに、地域社会における活動を促進するために設立する板橋グリーンカレッジの運営について、必要な事項を定めることを目的とする。

(構成等)

第2条 板橋グリーンカレッジ(以下「カレッジ」という。)は、大学校及び大学院で構成し、原則として、グリーンカレッジホール(東京都板橋区志村三丁目3番6号)内において開講する。

(組織)

第3条 カレッジには、これを総理する学長を置くとともに、運営に伴う各種事務を行う事務局及び事務局長並びに板橋グリーンカレッジOB会を置く。

2 学長は、板橋区長とする。

3 事務局は、教育委員会事務局生涯学習課に置き、事務局長は地域教育力担当部長の職にある者をもって充てる。

4 板橋グリーンカレッジOB会は、大学校及び大学院の卒業生で組織し、カレッジの運営に協力する。

(運営)

第4条 事務局長はカレッジの運営を、板橋グリーンカレッジ運営協議会運営要綱(令和4年4月30日決定)第1条により設置する板橋グリーンカレッジ運営協議会において協議の上、承認を得て実施する。

(入学資格者)

第5条 大学校の入学資格者は、次の各号のすべてに該当する者とする。

(1) 区内に在住、在学又は勤務する者

(2) 過去に大学校を卒業していない者

2 大学院の入学資格者は、大学校卒業生(大学院卒業生を含む。)又はそれに準ずる者とする。

(入学定員及び実施要領)

第6条 カレッジの入学定員及び年間カリキュラムは板橋グリーンカレッジ運営協議会運

営要綱第2条に基づく協議により毎年度、別に定める。

(入学者の募集及び決定)

第7条 大学校・大学院は、第5条第1項及び第2項に規定する入学資格者を公募する。

2 前項の公募において、応募者数が定員を超えるときは、大学校においては入学する者を優先し、大学院においてはコース毎に入学する者を優先し、受講生として決定する。ただし、優先すべき応募者数が定員を超えるときは、当該応募者から抽選により受講生を決定する。

3 前項の規定による入学決定後において、なお欠員を生じている場合は、前項の規定に従い、残りの応募者から受講生を決定する。

(修学年限)

第8条 大学校の修学年限は2年とし、大学院の修学年限は1年とする。

(聴講生)

第9条 前条の規定にかかわらず、大学校の卒業生のうち、継続学習を希望する者にあつては大学校の2年目のコースの講義を、大学院の卒業生のうち、継続学習を希望する者にあつては、大学校の2年目のコースの講義または大学院の講義を聴講することができる。ただし、教室の定員から専門課程受講生の人数を引いた数を聴講生の定員とし、当該定員を超える場合には、抽選により決定するものとする。

(受講料等)

第10条 カレッジの受講生及び聴講生は、実施要領に定める受講料を負担する。

2 前項に規定するもののほか、特別な教材、実習等に係る実費については、別途受講生が負担するものとする。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は地域教育力担当部長が別に定める。

付 則

この要綱は、教育長決定の日から施行し、令和4年4月1日より適用する。

付 則 (令和6年1月30日教育長決定)

- 1 この要綱は、令和6年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、教育長決定の日から施行する。
- 2 この要綱を施行するために必要な準備行為は、この要綱の施行前においても行うことができる。

令和 6 年度板橋グリーンカレッジ大学校・大学院実施要領

(令和 6 年 2 月 2 9 日地域教育力担当部長決定)

板橋グリーンカレッジ運営要綱第 6 条に基づき、令和 6 年度板橋グリーンカレッジ大学校（以下「大学校」という。）及び板橋グリーンカレッジ大学院（以下「大学院」という。）について以下のとおり実施する。

(入学資格者)

第 1 条 大学校の入学資格者は、次の各号のすべてに該当する者とする。

- (1) 区内に在住、在学又は勤務する者
- (2) 過去に大学院を卒業していない者

2 大学院の入学資格者は、大学校卒業生（大学院卒業生を含む）又はそれに準ずる者とする。

(入学定員)

第 2 条 入学定員は以下のとおりとする。

- 1 大学校 1 年生 3 0 0 名
- 2 大学校 2 年生 3 6 0 名（文化文学・社会生活・健康福祉 3 コース各 1 2 0 名）
- 3 大学院 9 0 名（文化文学・社会生活・健康福祉 3 コース各 3 0 名）

(コース)

第 3 条 コースは以下のとおりとする。

- 1 大学校 1 年生
全 2 3 科目から 1 8 科目まで選択して受講することができる。
- 2 大学校 2 年生
 - (1) 文化文学・社会生活・健康福祉の 3 コースから 1 コースを選択して受講する。
 - (2) 講義回数は、各コース全 1 8 回とする。
- 3 大学院
 - (1) 文化文学・社会生活・健康福祉の 3 コースから 1 コースを選択して受講する。
 - (2) 講義回数は、各コース全 1 3 回とする。

(申込)

第 4 条 申込期間は、令和 6 年 1 月 2 0 日から令和 6 年 2 月 1 6 日までとする。

第 5 条 申込方法は、区ホームページ上の電子申請または、往復ハガキの送付による。ただし、大学校 1 年生については、往復ハガキでの申し込みは受け付けず、専用の履修届（電

子申請を含む）の提出をもって申込とする。

（受講者の決定）

第6条 令和6年3月中に申込者宛てに当落通知を送付する。

（受講料）

第7条 受講料は、年間5,000円とする。

付 則

この実施要領は、地域教育力担当部長決定の日から施行する。

板橋グリーンカレッジ運営協議会運営要綱

(令和4年3月30日教育長決定)

(設置)

第1条 板橋グリーンカレッジ大学校・板橋グリーンカレッジ大学院の事業の円滑な運営を図るため、板橋グリーンカレッジ運営協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 協議会は、板橋グリーンカレッジ大学校・板橋グリーンカレッジ大学院に関する次の各号に掲げる事項について協議するものとする。

- (1) 年間カリキュラム
- (2) 講師選定
- (3) その他運営に関すること。

(構成)

第3条 協議会は、次の各号に掲げる者につき、教育委員会が委嘱又は任命する総数 10 名以下の委員をもって構成する。

- (1) 板橋区内の大学関係者
- (2) 学識経験者
- (3) 区民の代表
- (4) 板橋グリーンカレッジOB会の代表者
- (5) 区職員

(任期)

第4条 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、再選を妨げない。

- 2 委員が欠けたときは、その後任者の任期は、前任者の任期の残存期間とする。

(議長及び副議長)

第5条 協議会に議長及び副議長を置く。

- 2 議長は、委員の互選により選出し、副議長は議長が指名する。
- 3 議長は、協議会の会務を統括する。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるとき又は議長が欠けたときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 協議会は、議長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 議長は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(開催)

第7条 協議会の開催は、年2回とする。ただし、必要があるときは、臨時に開催すること

ができる。

(報酬)

第8条 協議会の委員の報酬の額は、予算の範囲内で別途定める額とする。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、教育委員会事務局生涯学習課に置く。

(補則)

第10条 この要綱で定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、地域教育力担当部長が定める。

付 則

この要綱は、教育長決定の日から施行する。

付 則 (令和6年1月30日教育長決定)

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。